

# 言語欺瞞コミュニケーションの認知語用論的分析 と欺瞞回避の実践訓練法構築

人間文化学部 英語英文学科  
教授 小山 哲春

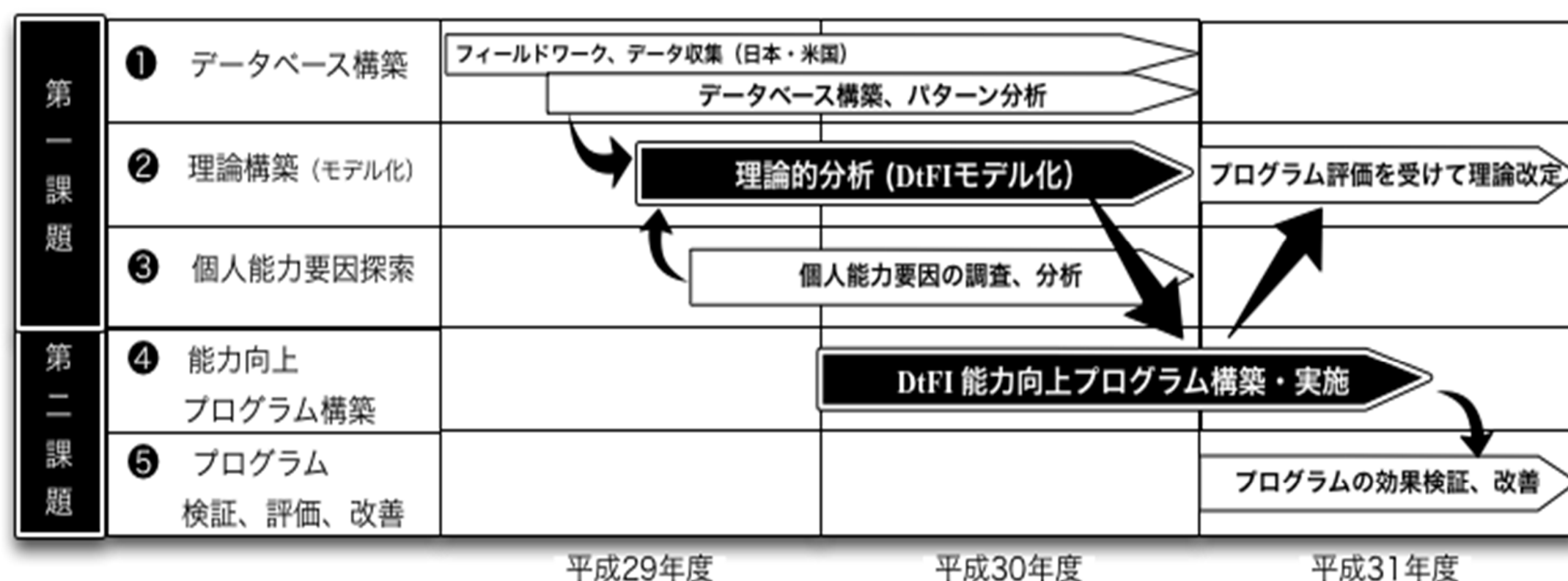
研究種目： 基盤研究(C)  
研究期間： 2017年度～2019年度  
研究分野： 言語学



本研究は、言葉による欺瞞(linguistic deception)の一種である「言い逃れ・遁辞 (equivocation)」を主対象とし、「誤推論による欺瞞 (Deception through False Implicature: DtFI)」という理論的観点で、曖昧な言語表現によって人を騙す、あるいは人が騙される際の(誤)推論メカニズムを解明し、欺瞞回避に必要なコミュニケーション戦略の実践訓練法を構築する。理論研究として1.「言い逃れ・遁辞」の実例データベース構築、2.言語学(語用論)および社会心理(コミュニケーション)学的理論(モデル)構築、3.欺瞞メッセージ産出(抑制)・解釈に関わるコミュニケーション能力要因の探索、さらに応用研究として4.欺瞞メッセージ産出(抑制)・解釈能力向上のための研修システムの開発と5.その評価と検証、という計5つの課題を達成する。

主な著書

- ・『はじめて学ぶ認知言語学』ミネルヴァ書房。(2018刊行予定)。(共著)
- ・『認知語用論』。(2016年)。くろしお出版。(共著)
- ・「メタ認知能力としてのコンピテンス涵養のためのコミュニケーション教育」『日本コミュニケーション研究 Vol.44, No.1』, pp.17-26. 日本コミュニケーション学会. 2015
- ・『言語の創発と身体性』。ひつじ書房. 2013. (共編著)
- ・『小学校英語で身につくコミュニケーション能力』。三省堂.2009. (共著)
- ・『言語と認知のメカニズム』ひつじ書房. 2008. (共編著)  
「日本人の対人コミュニケーション能力とメッセージデザイン～構成主義コミュニケーション論からの考察」『Speech Communication Education, Vol. 23』. 日本コミュニケーション学会. 2010.
- ・"Validity of the YTK Speaking Test: Construct Validation of a Performance-based English Speaking Test forElementary School Students in Japan." Bulletin of Kyoto Notre Dame University, 42, 25-42. 2012.



研究計画表(平成29年度～平成31年度)

京都ノートルダム女子大学  
研究・情報推進課

電話：075(706)3789  
FAX：075(706)3793  
電子メール：kenkyu@notredame.ac.jp